

## 新型コロナウイルス感染拡大の状況における大学の対応について(秋田県立大学)

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。

### 大学回答欄

令和2年度前期 Semester においては、全教員にZoomアカウントを付与し、全ての講義を遠隔で実施したが、授業の質を確保するため、教員ワーキンググループにおいて、遠隔授業の円滑・効果的な進め方について研究と検討を行った。また、個々の教員が授業内容を見直し、効果的な手法(オンライン・オンデマンドの併用、資料の事前配布、レポート提出、質問への対処など)について学内で情報を共有した。令和2年度前期 Semester の後半から、実験・実習などについては、感染防止対策を十分に行った上で、限定的に対面により実施した。令和2年度後期 Semester からは、感染拡大状況を考慮し、全ての授業を対面を基本とつつ遠隔を適宜活用し、学生の不利益にならないよう授業を円滑に実施した。

令和2年度前期 Semester の遠隔授業の開始にあたっては、事前にアンケートを実施し、学生のICT環境を把握し、専用ヘルプデスクを設置して学生の不安解消に努めるとともに、受講が困難な学生に対しては、学内のコンピュータ実習室を提供した。

令和2年度後期 Semester からの対面授業でも、通常時の講義室より広い講義室の使用や受講学生の分散(別の講義室にリモート配信)等により密回避に努め、実験・実習の際にはフェイスシールドを着用させるなど、感染拡大防止策を講じつつ、学習の質を維持するよう努めた。

2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄

令和2年度から3年度にかけては、学生及び教職員の安全・安心の確保のため、都度、学長メッセージをはじめとする各種通知をメールなどで関係者に確実に届く方法によりお知らせした。また、大学ホームページ内に専用ページを設け、学内外に積極的に情報発信をした。加えて、学生の保護者向けにも学長メッセージを郵送し、授業の進め方等について、理解と協力を要請した。

<https://www.akita-pu.ac.jp/hihyouji/6162>

対面授業開始後は、食堂・図書館に飛沫防止用パネルを設置した他、椅子の配置見直しや食堂エリアの拡大などによりソーシャルディスタンスを確保することで、感染拡大防止策を講じつつ、学生の学習や生活支援に努めた。

令和2年度前期 Semester では、学年担当教員が学生と電話、メール、Zoom等で頻りに連絡をとるなど、カウンセラー、事務局職員を含め、学生の学修面・生活面の現状を把握し、相談に対応し、学生の学習や生活支援に努めた。

令和2年度前期 Semester で、特に、1年生に対しては、不安解消のため、SNSを利用して積極的に新入生同士のコミュニケーションを図るよう、教員から指導するとともに、学科毎にオリエンテーションなどの機会を捉え、友人づくりができる場を提供し、学習や生活支援に努めた。

令和2年度は、学生のアルバイト状況と経済状況の見通しについてアンケートを実施し、実態を把握した。そのうえで、学生の状況に応じて国の支援制度を周知するなど丁寧な相談対応を実施することで、学生の経済的な生活支援に努めた。

遠隔授業の間は、教材作成支援(講義動画の撮影や演示実験のモデル等)にあたるティーチング・アシスタント(大学院生)を追加雇用し、学生の経済的な生活支援に努めた。

遠隔授業の間は、図書館の郵送による貸し出しサービスを始め、学生の学習支援に努めた。

令和2年度前期 Semester のキャリア支援では、感染拡大状況を考慮し、対面によるキャリアカウンセリングとオンラインによる面談・指導を適宜活用し学生支援に努めた。(現在は、対面により対応)